

7月1日～ 松本零士展 展示替えです!

企画展

天才少年 松本零士

～幼少期から漫画家デビューまで～

石神井公園ふるさと文化館分室がオープンして早二ヶ月が経ちました。予想をはるかに超えるたくさんの方々にご来館いただき、てんてこまいの職員は嬉しい悲鳴をあげる毎日ですが、六月に入りようやく落ち着いてきたように思います。

さて、練馬区名誉区民である漫画家・松本零士氏を紹介する当室初の企画展は、七月一日から展示替えを行います。「天才少年 松本零士」と題し、零士氏の幼少期から漫画家デビューまでに焦点を当てた展覧会となります。松本零士といえば「銀河鉄道999」や「宇宙戦艦ヤマト」でおなじみの、漫画界の重鎮たる人物ですが、練馬区には昭和三十八(一九六三)年から在住しています。数々の作品はこの地で生まれ、現在もアニメによる町おこしに尽力するなど、練馬区に大きく貢献しています。

零士(本名・晟)氏は昭和十三(一九三八)年一月二十五日、福岡県久留米市に生まれました。幼少期から絵本や漫画が大好きだった零士氏は六歳の頃から漫画を描き始め、小学校を卒業するまでに約十五作品を残しています。その中でいま手に取って読めるものは四作品ほどですが、冒頭の登場人物設定をはじめ、しっかりと構成の組まれたストーリーや、立体感のある迫力の絵からは、当時から相当描き込んでいた様子がうかがわれます。学級文庫用に描いた

作品を製本してくれたのが、零士氏がひそかに想いを寄せていた女の子だったとか。あどけなさで卓越した画力がみなぎる貴重な作品は展示室でご覧いただけます。

中学生になると画風も定まってきて、雑誌などの投稿欄に応募を始めるようになります。徐々に名前が知られるようになり、「蜜蜂の冒険」が昭和二十八(一九五三)年十二月「漫画少年」の新人王に輝き漫画家デビューを果たします。

零士氏の作品の変遷は大きく分類すると、昆虫漫画、少女漫画、少年・青年漫画、SF漫画という流れになります。それぞれの作品には、幼少期に昆虫と過ごした時間や、高校卒業後の



企画展「天才少年 松本零士」の様子

7・8月のイベント情報

日付	時間	イベント名	場所	講師等	定員	対象	費用	申込
7/6 (日)	10:30~12:00	講座「和」を学ぶシリーズ第4回 「葛城(てんこく)を学ぶ①」 2回の連続講座で来年度の干支などの印を彫ります。	石神井公園の風文化公園管理棟内 多目的室	講師：川内伯聖 (篆刻家)	20人	中学生以上	※1,500円 (7/20分含)	終了
7/11 (金)	14:00~14:40	展示解説 展示室およびオーディオ展示室をご案内します。	石神井公園ふるさと文化館分室	解説：当室学芸員	特になし	どなたでも	無料	なし
7/20 (日)	10:30~12:00	講座「和」を学ぶシリーズ第5回 「葛城(てんこく)を学ぶ②」 2回の連続講座で来年度の干支などの印を彫ります。	石神井公園の風文化公園管理棟内 多目的室	講師：川内伯聖 (篆刻家)	20人	中学生以上	※1,500円 (7/6分含)	終了
7/20 (日)	14:00~14:40	展示解説 展示室およびオーディオ展示室をご案内します。	石神井公園ふるさと文化館分室	解説：当室学芸員	特になし	どなたでも	無料	なし
7/26 (土)	A回13:30~15:00 B回15:30~17:00	レコードコンサート 五味康祐遺品のオーディオによるコンサートです。	石神井公園ふるさと文化館分室 五味康祐オーディオ展示室	解説：唐金利生 (T&T代表)	各回20人	中学生以上	各回500円	終了
8/2 (土)	15:00~17:00	零士先生と遺画を描こう! 松本零士先生の指導のもと、遺画を描きます。	石神井公園の風文化公園管理棟内 多目的室	講師：松本零士 (漫画家)	30人	小学4年生 ~高校生	500円	終了
8/6 (水)	14:00~14:40	展示解説 展示室およびオーディオ展示室をご案内します。	石神井公園ふるさと文化館分室	解説：当室学芸員	特になし	どなたでも	無料	なし
8/10 (日)	12:00~13:00	日本大学藝術学部学生によるサロコンサート 木管五重奏によるクラシック音楽等が聴けます。	石神井公園の風文化公園管理棟内 多目的室	演奏： 日本大学藝術学部学生	100人	どなたでも	無料	なし
8/23 (土)	A回13:30~15:00 B回15:30~17:00	レコードコンサート 五味康祐遺品のオーディオによるコンサートです。	石神井公園ふるさと文化館分室 五味康祐オーディオ展示室	解説：当室オーディオ 担当職員	各回20人	中学生以上	各回300円	★1
8/31 (日)	10:30~12:00	講座「和」を学ぶシリーズ第6回 「日本の伝統美 彫金の世界」 彫金の制作などについてのお話が聞けます。	石神井公園の風文化公園管理棟内 和室	講師：桂盛仁 (彫金家・人間国宝)	30人	中学生以上	無料	★2
8/31 (日)	14:00~14:40	展示解説 展示室およびオーディオ展示室をご案内します。	石神井公園ふるさと文化館分室	解説：当室学芸員	特になし	どなたでも	無料	なし

★1 申込方法：往復はがきの場合①希望月・回とイベント名(例：「●月●回レコードコンサート」)②氏名(ふりがな)2名まで③住所④電話番号を記入の上、毎月第2土曜日(8/9)必着で、〒177-0045 練馬区石神井台1-33-44 石神井公園ふるさと文化館分室あてにお送りください。インターネットの場合、石神井公園ふるさと文化館HPより申込フォームを聞き必要事項を記入の上、毎月第2土曜日(8/9)23:59までに送信してください。参加費は当日払いです。

★2 申込方法：往復はがきに①講座名(「日本の伝統美」)②氏名(ふりがな)2名まで③住所④電話番号を記入の上、8月12日(火)必着で、〒177-0045 練馬区石神井台1-33-44 石神井公園ふるさと文化館分室あてにお送りください。

※いずれも参加費は当日払いです。

オーディオ展示室メンテナンス(音出し)情報

毎週火・木曜日の10:00~12:00/14:00~16:00に2階オーディオ展示室にてメンテナンス(音出し)を行っており、ご自由に試聴いただけます。

【発行・お問い合わせ】

石神井公園ふるさと文化館分室

(指定管理者：(公財)練馬区文化振興協会)

〒177-0045 練馬区石神井台1-33-44 石神井公園の風文化公園管理棟内

TEL 03-5372-2572 / Fax 03-5352-2983

休室日：毎週月曜日(月曜が祝日の場合はその翌平日)、年末年始

下宿時代の体験など、零士氏の人生が色濃く反映していることがわかります。中でも注目したいのが、宇宙を舞台としたSF漫画を描く原動力となった、父・強氏との思い出です。陸軍航空隊の将校で、パイロットとして南方戦線で戦っていた強氏は、終戦後無事帰還しますが、公職追放の身となってしまい、貧しい生活を送りました。家族全員で取り組んだ野菜売りや炭焼きの仕事は厳しいものでしたが、幼い零士氏は父親と一緒にいるというだけで嬉しう時間を感じ、炭焼き釜の前でもともに語りう時間を楽しみにしていました。飛行機操縦時に高空で酸欠になりかけた話や、星の海のような夜空の話、惑星や星雲の存在、宇宙人の存在の確率など、いつまでも飽きることなく聞いていたそうです。零士氏のコレクションには戦闘機の模型や照準器など、戦時中を彷彿とさせるものも多く見られますが、それらには父親の飛んでいる姿や、楽しかった会話の時間を重ねているのかもしれない。

今年で画業六十年を迎える零士氏。その間描かれた数々の作品は、自身の体験から生まれた読者へのメッセージであると同時に、父・強氏へのオマージュでもあるのです。

★★★★★

《六・七月の作品》 練馬区ゆかりの作家や作品を、月ごとに紹介します。

川端茅舎の俳句

五月闇より石神井の流れかな  
さつきやみ

河骨の金鈴ふるふ流れかな  
こうほね きんれい

睡蓮に鳩の尻餅いくたびも  
すいれん にほ しりもち

三宝寺池の翡翠藤浪に  
さんぼうじいけ かわせみふじなみ

渉る鶺鴒の浮びて行きにけり  
かちわた ばん

『定本 川端茅舎句集』

昭和二十一年（一九四六）年九月発行養徳社



鳩（にお）（かいつぶり）ウィキペディアより

川端茅舎（俳人、画家）明治三十（一八九七）年〜昭和十六（一九四一）年。日本橋出身の俳人。日本画家、川端龍子とは異母兄弟。俳句は、高浜虚子に師事した、「ホトトギス」派の俊英。高い品格と、深い教養に裏打ちされた俳句で著名です。

高浜虚子は、「花鳥諷詠真骨頂漢」と評し、その才を讃えました。掲載は昭和十（一九三五）年の作。

大正四年、武蔵野鉄道（現・西武鉄道）が飯能まで開通すると、都心から日帰りで行ける吟行（自然を見て俳句を詠む）地として、石神井公園には、多くの人々が訪れるようになりまし

コラム —大盛況！古本交換会—

分室がオープンしてから約二週間の、四月十二日（土）、十三日（日）に古本交換会が開催されました。二日間で、四〇〇人を超えるお客様がお越しくださいました。その名の通り、参加者各々が不要になった本を持ち寄り交換する、という会です。とはいっても、通りがかりのお客様も多いので、厳密に交換というルールではなく、本を持ってくるだけ、もしくは持ち帰るだけでもOKですよ、という緩やかな決まりの中で行われました。

“持ち帰りは一人五冊まで”となると、みなさんの選ぶ目も真剣です。「どっちにしようかな」と行ったり来たり悩む人や、夢中で絵本を読むあまり、地べたに正座している子どもも……



「古くていらなくなった本でも、捨てるってなるとなかなかできないんだよね。でもこつとした交換会で、自分の本が必要としている人の手に渡るならうれしいよね」と話されるお客様。似たような声はちらほら聞こえ、みなさんの本への大切な想いがじわじわと伝わってきました。

思いがけず素敵なお本と出会える古本交換会。アンケートでは「またやってほしい！」の声が多数でした。もしかすると、またひょっこり開催するかもしれません。

—4月のサロンコンサートにて—

作家・五味康祐氏遺品のピアノで4月6日に行われた、ピアニストの澤井俊佑さんによるコンサート。コンサートの終わり近く、雷鳴がとどろきわたりました。野外でスポーツを楽しむ方々が続々屋内に集まってきました。アンコール曲は、ベートーヴェンのピアノソナタ「悲愴」から。五味さんの愛するベートーヴェンです。

「自分が死んで、もし雷が鳴ったら、ベートーヴェンのそばに行ったらと思ってほしい」とまで夫人に言っていた五味さんの言葉を思い出しました。



コラム —五味康祐のオーディオ—

練馬区が一括で受入れた五味康祐のオーディオ装置は、1960年代から1970年代のオーディオの精華とも言えるもの。これまで練馬区役所内の会議室で五味コレクションのレコードを五味オーディオで聴く「名盤レコードコンサート」を開催してきました。

今年4月からは石神井公園ふるさと文化館分室で常設展示として公開するとともに、7月よりレコードコンサートを再開します。氏が愛してやまなかったスピーカー「タンノイ オートグラフ」をはじめとする機器は、まるで生き物。日によってご機嫌はいろいろですが、頻繁に音を鳴らしてあげることが、何より大切なポイントです。

引っ越しから3か月、少しずつ、音も部屋になじんできたのでは？と思っています。

■毎週火曜日と木曜日の10時～12時、14時～16時、メンテナンスの音出しを試聴できます。

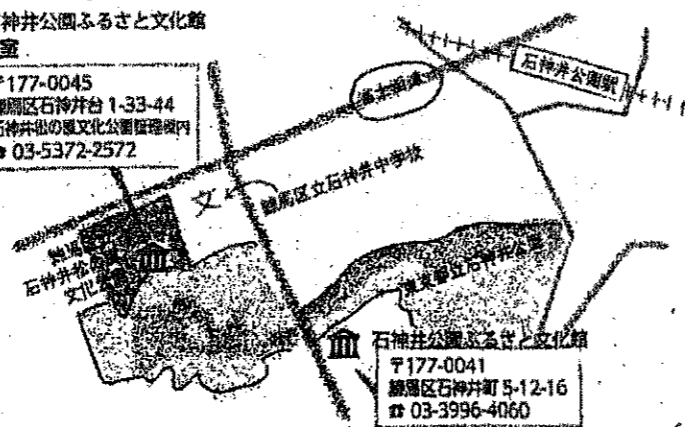
石神井公園ふるさと文化館分室  
アクセス

最寄駅：西武池袋線 石神井公園駅  
(有楽町線、副都心線直通)

- ・石神井公園駅南口から徒歩15分
- ・石神井公園駅北口から西武バス「吉祥寺駅行き」約5分、「石神井郵便局」下車1分

石神井公園ふるさと文化館分室

〒177-0045  
練馬区石神井台1-33-44  
石神井池の風文化公園管理棟内  
☎03-5372-2572



石神井公園ふるさと文化館  
〒177-0041  
練馬区石神井町5-12-16  
☎03-3996-4060